

スマートリング 取扱説明書



【適切なプラットフォーム要件】



Android 8.0

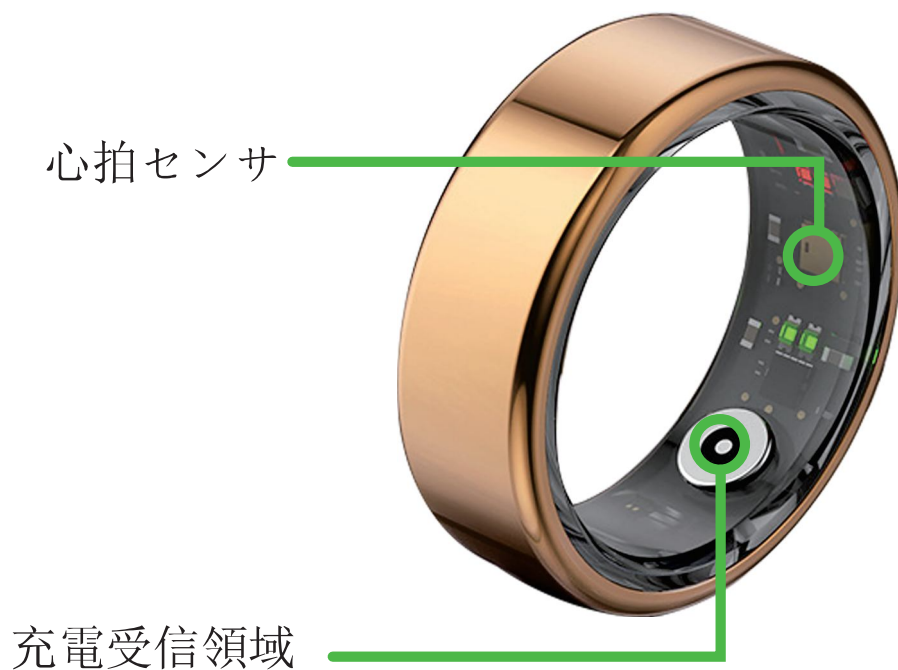


IOS 14以上



APPサポート

【製品外観機能の説明】



着用のヒント：スマートリングを指に装着するには、心拍センサーの片側が手のひらの内側に向かってるように、装着の緩さを適切にすることをお勧めします。

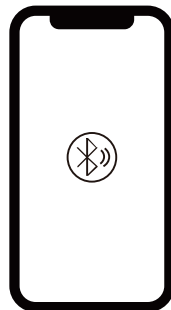
【指輪の機能紹介】

- 1、Bluetooth接続: Bluetooth接続時に青信号が3回点滅（1秒間隔）し、点灯時間は50 MSである。
- 2、電源を入れる: 指輪が充電されたら、電源を切り、自動的に電源を入れる。
- 3、シャットダウン: 電力量が5%未満の場合、自動的にシャットダウンする。
- 4、低電力量: 低電力時は1分間隔で2回赤信号を点滅し、点灯時間は50 MSである。
- 5、OTAアップグレード: APP制御装置OTAをサポートする。
- 6、心拍数測定: デフォルトでは1時間に1回測定し、APPで手動測定を設定することができる。
- 7、血圧測定: デフォルトでは1時間に1回測定し、APPで手動測定を設定することができる。
- 8、血中酸素測定: デフォルトでは1時間に1回測定し、APPで手動測定を設定することができる。
- 9、睡眠測定: 測定時間帯区間は22: 00-08: 00である。
- 10、運動測定: カロリー、歩数、マイル、運動系情報は終日累積し、毎日0時に自動的にゼロになる。
- 11、履歴データ保存期間: 7日間スクロール保存

【APP接続方式】



Lefun Health(Life)
(Lefun Health(Life)携帯電話の使用
許可機能を使用)



携帯電話のクライアントを開いて個人情報を設定する



【デバイス】に切り替えてデバイスを追加



スキャンしたデバイスのリストでデバイスをクリックします



バインド完了

- 1、上のQRコードをスキャンしたり、Androidアプリケーションストア/APP Storeで検索したりする " Lefun Health(Life) " ダウンロードしてインストールします。
- 2、使用する前にスマートリングを充電してアクティブにしてください。
- 3、充電が活性化された後にオンにして入る " Lefun Health(Life) " APPは、APP接続ウィザードに従ってデバイスを検索し、検索リストの「Smart Ring」を選択してペアリングして使用します。

【充電方式】

充電には工場出荷時に配置されたベース充電ケーブルを使用し、スマートリングをベースに置く必要があり、充電時には赤色光が常に点灯し、青信号が常に点灯している。

【APP機能紹介】

- 1、トップページ、スポーツページ、デバイスページ、個人情報ページ。
- 2、歩数計：ユーザーが指輪をつけて毎日歩く歩数、道のり及び消費カロリーのデータに基づいてグラフを作成し、ユーザーに毎日/毎週/毎月必要な歩数計データを提供する。
- 3、心拍モジュール：設備側の測定データは**APP**心拍履歴に保存され、ユーザーが詳細を見るのに便利である。
- 4、血圧モジュール：設備側の測定データは**APP**血圧履歴に保存され、ユーザーが詳細を見るのに便利である。
- 5、酸素モジュール：設備側の測定データは**APP**酸素履歴に保存され、ユーザーが詳細を見るのに便利である。
- 6、睡眠モジュール：グラフの形式で毎日/毎週/毎月の睡眠情報データを記録し、指輪のデータを通じて毎日の睡眠の質と睡眠時間を計算する。

【基本パラメータ】

Bluetooth	Bluetooth5.0
バッテリータイプ	ポリマー電池
バッテリー容量	18mAh
充電時間	1時間
じゅうでんほうしき	に充電
ほうそう	スマートリング+磁気吸引充電ケーブル+製品説明書

【注意事項】

- 1、製品の品質問題が発生したり、製品の使用に不明な点があれば、直接メールで連絡してください。私たちは迅速に処理します。
- 2、本製品の測定結果は参考に供するだけで、いかなる医療用途及び根拠としない。医師の指導に従って、この測定結果に基づいて自己診断及び治療をしてはならない。
- 3、当社は何の通知もしないまま、本明細書の内容を修正する権利を保持しており、予告なく変更することがあります。一部の機能は対応するソフトウェアバージョンで区別されており、正常な場合です。
- 4、米国連邦通信委員会規則第15部の規定によると、この設備はテストを経て、**B類**デジタル設備の制限に合致している。これらの制限は、住宅の設置における有害な干渉を防止するための合理的な保護を提供することを目的としています。この装置は無線周波数エネルギーを発生、使用し、放射することができ、説明に従って設置し、使用しないと、無線通信に有害な干渉を与える可能性があります。ただし、特定のインストールで干渉が起こらない保証はありません。デバイスが無線またはテレビ受信に有害な干渉を与えていることが確実である場合は、デバイスをシャットダウンしてオンにすることによって決定することができ、ユーザは、次の1つ以上の方法で干渉を修正しようと試みることを奨励する：

--受信アンテナの向きを変更するか、位置を変更します。

--デバイスと受信機の間隔を増やします。

--受信機とは異なる回路上のソケットにデバイスを接続する